

ストレプトゾシン（商品名：ザノサー点滴静注用）

【起こる可能性のある副作用】

◎血管痛

- ・ お薬の刺激によって、点滴中や点滴後に血管に沿って痛みが出ることがあります。
- ・ 予防にホットパックを使用したり、輸液を追加することがあります。ホットパック使用中はやけどに注意しましょう。

◎血管外漏出

- ・ 静脈に投与した薬が血管外に漏れ出てしまうことがあります。
- ・ 大きな傷となってしまう可能性がありますので、注射部位の周りを観察し、痛みや腫れ、赤みや熱感を感じた場合は速やかに職員に声をかけてください。

◎悪心・嘔吐

- ・ 治療前に吐き気を予防するお薬を使用します。
- ・ 予防薬の効果が十分得られない場合は、予防のお薬を追加する場合があります。

◎糖尿病

- ・ のどの渇き、多飲、多尿（夜間覚醒を伴う）、食欲不振、体重減少、悪心・嘔吐などの症状が現れることがあります。

◎腎機能障害

- ・ 腎臓に関連する血液検査の数値が異常値を示すことがあります。
- ・ 尿量の低下、むくみ、血圧上昇などの症状が現れることがあります。
- ・ 点滴や飲水で予防することがあります。

◎骨髄抑制（目安の時期：1週間後以降）

- ・ 白血球/好中球数減少（感染症にかかりやすい、発熱）、血小板減少（鼻血、あざができる、出血しやすい）、貧血（めまい、息切れ、疲れやすい）が起こることがあります。

ここに挙げたものは主な副作用です。ここに挙げていないものも起こる可能性があります。ささいなことでも遠慮なく主治医・看護師・薬剤師に連絡をしてください。